

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-
患者さんとそのご家族の方へ

現在、東京女子医科大学附属足立医療センター周産期新生児診療部新生児科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。研究の対象者は、下記のように東京女子医科大学東医療センターの患者さんが対象となります。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方やご家族の中で、診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんやそのご家族に不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 予定帝王切開にて出生した児の新生児経過における在胎週数の影響

[研究対象者] 2015年4月～2021年10月までの間に、東京女子医科大学東医療センターで予定帝王切開にて出生した患者さん

[利用している診療情報等の項目]

診断名、年齢、性別、入院日、家族歴、病歴、検査結果（血液、画像、生理的検査など）、治療内容・経過、等

[利用の目的] （遺伝子解析研究： 無 ）

予定帝王切開で出生する場合、何週で生まれるのが赤ちゃんにとって良いか(入院率、入院期間、呼吸管理の必要性などが低い)、ということを検討します。

[利用期間] 倫理審査委員会承認後より2026年10月31日までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、どなたのものなのかわからないように安全管理措置（匿名化）をしたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学附属足立医療センター周産期新生児診療部新生児科 講師 山田洋輔

研究内容の問い合わせ担当者：同上

電話：03-3857-0111（内線31179）（応対可能時間：平日9時～16時）

ファックス：03-6807-1980 Eメール：yamada.yosuke@twmu.ac.jp